

神のご計画

信徒代表 坂本 規子

今年の1月から次期信徒代表、副代表を選出するため、神父様をはじめ評議員の方、選挙管理委員の方たちがご苦労なさっている姿を見てきました。

私もそれを見守る中、適任者が選ばれるよう祈ってきましたが、まさか神様が私を呼ばれるとは思っていませんでした。

これには何か理由があるはずと、「神様なぜ私ですか？」と毎日のデボーション（祈りの時間）の中で祈っていました。

神様の答えを待っている時「イエス様は弟子を選ばれるとき、律法学者や賢い人を選ばれなかったではないか、嫌われ者や漁師、取るに足らないものを選ばれたではないか」という答えが返ってきました。だから私のようなものを選ばれたのか……と。

きっと神様は何かご計画があって、私を選ばれたのだらうと理解しました。

わたしは十字架の上で最後に、「私は渇く」と言われて息を引き取られたイエス様のことをよく思います。

私たちが教会の中で互いに助け合うことをしなかつたり、争ったり、偏見を持ったりしていると神様は悲しまれているのではないのでしょうか。

イエス様の渇きを少しでも癒せるよう教会が神様の教会になるよう少しでもお手伝いできればと思っています。

「何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心からしなさい」と（コロサイ3；23）言われ、人にすごいと思われるような完璧さはなくても神にささげるつもりで仕事をしなさいと神様は語ってくださいます。

「おのおの自分の行いをよく調べてみなさい。

そうすれば誇れると思ったことも、ただ自分だけの誇りで、ほかの人に対して誇れることではないでしょう」（ガラ6；4）

と人と競うのではなく、ただ負うべき自分の荷を負いなさいと教えられます。このみ言葉を心に神様が何をしてくださるか、大いに期待し楽しみに奉仕していきたいと思えます。

今年の復活祭で洗礼を受けられた4名の兄弟姉妹を迎え教会の新年度がはじまりました。

昨年からはじまった「信仰年」も続いています。

「神の国を生きる信仰」というテーマで、姫路地区では4月21日の姫路地区拡大宣教評議会から従来1日だけで終わっていた地区大会を半年かけた取り組みとして行われています。各小教区でさまざまなプログラムが用意されています。情報を共有しながら各取り組みに参加していきたいと思えます。

信徒代表として皆さんの声の聞き役となり共に話し合い考えていけるよう、努力していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。